

# 百 壽

赤谷慶子

霜月の十三日に母は百歳の誕生日を迎へたり。この特別なる日を祝ふ為、獨・ミュンスタ  
ー在住の妹夫婦三年ぶりに來日せり。當初は「親戚査證」なるものを取る要あれど、デュ  
ッセルドルフの總領事館と區役所の提示する文若干異なるに據りて悩みたりき。まづは姉  
妹たる證は親の戸籍謄本に、なほかつ姉なる我日本在住といふ證は住民票にて明らかな  
り。加へ義弟は獨逸國籍かつ現在獨逸在住なり。妹は日本國籍を放棄すれば、「除籍證  
明」要り、そは本人の戸籍謄本にて證するを得との由。我は世田谷區役所等々力出張所へ  
二たび赴き、それらを擔當者と謀りつつ取得せり。しかるに數週間を出でずして、政府の  
方針變更あり、獨逸等特定の先進國よりの來日は査證を要せずと改まれり。なんたる無駄  
なる努力を強ひられたりや。

世田谷區櫻新町なる母の入所せる施設より聯絡あり。外食する際には、家族のみにて個室  
を取るべしと要請あり。來日前、妹は母に食事の所望を電話にて問ひ合はせ、焼肉・中華  
料理などを望むとの回答を得たり。十三日當日は帝國ホテル中二階なる、父こよなく好み  
しミシエラン一つ星の佛蘭西レストラン「レゼゾン」の個室を取りて誕生會を催したり。  
親しき親戚、總勢八名参加せり。一品料理メニューより母の好みに合はせ品書を義弟作り  
たり。まづはシャンパンにて乾杯し、いま一番人氣の加利福尼亞葡萄酒のシャルドネの白  
を義弟頼めり。ソムリエ曰く「今なかなか手に入らぬ人氣葡萄酒なり」との由。短劍を右  
手に肉刺しを左手に、誰の手傳ひもなく母は焼肉を清げに切りつつ食ひき。料理の量は絶  
えて整へず、他の人どもと同じものなるにも關はず母は完食しき。果てに氷菓子がいと  
戀しき母がためにと上段ピスタチオ、中間バナラとチョコレート交互になれる氷菓子を料  
理長に作らせたり。娘なる我は満腹して若干を残したれど、母はこれも完食す。母は虫歯  
もなく、すべて己が齒なれば、料理を食ふには支障なし。歩行器を使ひて歩めど、これも  
結構速足になりて、古希を迎ふる従姉妹はえ追ひ付かずと驚けり。手洗ひ所も介助なしに  
一人歩行して入りたり。

果てに「けふは誕生會催させかたじけなく存じ候。自らおもへらく、百歳まで健やかなる  
こと、我ながらあっぱれとぞ存ずる。今朝、鏡の前にて己に良く頑張れりとみづからおの  
れを褒めたり」との挨拶あり、全員拍手せり。

母はしたたかに時計のごとく規則正しき生活する人なり。六時起床、朝餉は七時、晝餉は正午、三時におやつ、かくて夕餉は午後六時、就眠は午後九時と日ごろ定まりており、母を見ればおほかた何時頃といふ事の分かる程なり。我々未だ学生なりし砌、夕餉は一週間分の獻立冷蔵庫に貼りたりき。父はいと多忙におほかた夕餉を家にとらねど、父在宅の日曜日や休日等は父の好みの獻立になれり。かかる有様なれば、突然夕餉は不要と傳ふれば景色悪しくなるに據りて、氣を遣はざるを得ず。遅くとも前日には夕食不要なりと傳へずばならざりき。

十七日の夜半近くに妹夫婦獨逸への歸路に着くその日、中華料理を所望せる母を伴ひて恵比壽のウェスティンホテル内なる「龍天門」へ七人にて入りき。母食せばと言ひし伊勢海老、北京鴨等の料理次々といできたり。果てに杏仁豆腐供せらるれど、誕生日といふ事に母にはマンゴープリン加へていだされき。これらを母はさながら完食しけり。

老齡の母にありては、この一週間は非日常にて相當疲れたらむと思へど、何のその、いたって健やかに過し給ひてありと施設より聯絡ありき。昔よりおのれの身の事はなかなか憂へおり、日ごろ「眞向法」といふ體操のごときものを実践せる思ひ出あり。性格にもよるならめど、おのれを律しつつ日々を過したるにほり、老齡になりてもかくは矍鑠たり。加へ、母は喜怒哀樂表情に表せざるを、樂しや、あぢきなしや良く分からぬ事多けれど、そはおのれの心の安定化を謀る母なりの手法ならずやと覺ゆ。

(令和四年十一月二十一日受附)